

輝く個性～履修年限の複線化

飛び入学・早期卒業の教学運営と促進策

2002年11月14日(木)

時間	講義項目
13:00 ～ 13:30	<p>[千葉大] 飛び入学のフロントランナー 4年目の綜括 ～今春最年少の院生誕生、導入経緯、教学運営、波及効果～ 千葉大学 金子 克美</p> <p>1. なぜ飛び入学をスタートしたか 2. 飛び入学のこれまで 3. どのように飛び入学者を選ぶか 4. 飛び入学コースのカリキュラム 5. 飛び入学生のその後 質疑応答</p>
13:30 ～ 14:00	<p>[名城大] 2001年度「総合数理プログラム」の導入と実際 ～入学者選抜、「総合数理ボランティアサロン」設置、カリキュラムとその理念～ 名城大学 四方 義啓</p> <p>1. 飛び入学スタートの背景 中・高生が「学問」に求めているもの 社会が学問に求めるもの、遊離する傾向にある現在の学問</p> <p>2. 飛び入学とボランティアサロン 飛び入学生を支えるボランティア組織 学生間の縦社会と横社会・意識して作る縦社会 縦割り学問と、ネットワーク学問 □学問の4つの壁の打破＝学科・学部・大学・企業研究所</p> <p>3. 入学者選抜と「お見合いセミナー」 夏休みに行う双方向性を持たせた公開講座 お互いに行う評価□1に情熱、2に礼節、3,4がなくて5に成績 プレゼンテーションに基づく入試 (準備はサロンで行うものが多い。従って、「お見合い」でかなり絞り込み)</p> <p>4. 入学後のカリキュラム 人間と環境に対する4つの認識を反映する飛び入学生専用講義(24単位) □数理情報、言語情報によって外界を取り込む＝数理情報哲学・言語情報哲学 □経験に基づく行動原理としての哲学を形成＝情報技術(生命科学などを含む) □技術によって外部へ働きかける＝技術哲学</p> <p>5. 飛び入学生とサロンの現在の状況 カメラ・ラジオも分解する数学の講義 畑恵元議員、等々力某テレビディレクター、舟橋アイシン部長などによる講義 サロン生によるアフリカでの新カリキュラムによる実験授業 質疑応答</p>
14:10 ～ 14:40	<p>[昭和女子大] 「昭和方式」の法人内一貫教育の実際 ～中高・大・院、教育連携の意義と理念～ 昭和女子大学 澁澤 重和</p> <p>1. 中高・大一貫教育の原点 2. 5修生制度の誕生 3. 大学のカリキュラム教育 4. 大と院との接続へ 5. 「接続」の課題と今後 質疑応答</p>
14:40 ～ 15:10	<p>[慶應大] 学部教育の充実と大学院飛び入学制度の狭間 ～飛び入学制度の運用状況と大学院の新しい動向～ 慶應義塾大学 栗谷 文治</p> <p>1. 成績優秀者の大学院飛び入学の状況 2. 学部教育と大学院飛び入学制度の狭間 3. 教養教育の充実とこれからの大学院教育 4. 大学院飛び入学制度の円滑な運用のために 質疑応答</p>
15:20 ～ 16:50	<p>[パネル討論] 飛び入学は日本の教育を変えるか ～個性を生かす複線型教育への転換/検証と今後～ 司会 小林 哲夫 / フリーライター パネリスト 金子 克美 / 四方 義啓 / 澁澤 重和 / 栗谷 文治 【討論テーマ】</p> <p>1. 才能教育の定義 2. 飛び入学、早期卒業の功と罪 3. 複線型教育における事例 4. 才能の見きわめ方、入試選抜方法のあり方 5. 才能教育と大学 中高との連携 6. 早期卒業(修了)と進路問題 7. 研究者養成の視点 8. 企業から求められる人材 9. 中学、高校からの要望 10. 大学経営戦略と飛び入学、早期卒業</p>